

経 済 日 誌

兵庫県

2025年4月～6月

4/4 神戸に1万人収容の新アリーナ開業

神戸市の新港第2突堤に新たなランドマークとなる「ジライオンアリーナ神戸」が開業した。最大1万人収容可能で、バスケットボール男子Bリーグの神戸ストークスの本拠地となるほか、コンサートなど多彩なイベントでの利用を予定している。

4/7 24年度県内の倒産 2年連続500件超

帝国データバンク神戸支店によると24年度の県内企業の倒産件数は、544件（前年度比1.4%減）と2年連続の500件を超えとなった。負債総額は、前年度に大型倒産があった反動で同93.3%減の458億44百万円だった。

4/9 兵庫県ノリ生産 過去最高

兵庫県は24年度漁期（24年12月～25年5月）の養殖ノリの生産量が19.0億枚（前年比15.4%）、産出額が43.4億円（同16.7%）といずれも過去最高を更新し、3年連続で日本一になったと発表した。供給不足による単価高騰が全国的に続いてお

り、兵庫県産の養殖ノリも過去最高の単価（22.8円/1枚）となった。

4/18 神戸空港 国際チャーター便 運航開始

神戸空港の第2ターミナルビルが開業し、国際チャーター便の運航が始まった。韓国（1都市）、中国、台湾（各2都市）との間で週40往復する予定である。

5/4 兵庫県 子ども数1.5万人減少

総務省がこどもの日を前に発表した推計によると、24年10月1日時点の子どもの数（15歳未満）は61万4千人（前年比▲1万5千人）で、子どもの割合は11.5%（同▲0.2ポイント）だった。

5/19 兵庫県 燃料電池商用車の「重点地域」に

経済産業省が進める「燃料電池商用車の導入促進に関する重点地域」第1回募集に際し、兵庫県は近畿重点地域の中核地方公共団体に選定された。これはカーボンニュートラルの実現に向けた施策で、兵庫、東京など選定された6つの都県において事業者が水素ステーションを整備・運営する場合は国から集中的な支援が受けられる。

6/2 県内の工場立地 47件 全国4位

兵庫県は、24年（1～12月）の県内工場立地件数が前年度比18件増の47件で、全国4位だったと発表した。業種別では金属製品11件、地域別では北播磨の12件が最多だった。立地面積は47.9ha（前年度22.1ha）で全国10位であった。

6/4 兵庫県 合計特殊出生率1.23

厚生労働省は、24年の全国の出生数が68万6061人、合計特殊出生率が1.15になったと発表した。いずれも統計開始以降、過去最低を更新した。兵庫県は出生数が3万535人（前年比▲2080人）、合計特殊出生率が1.23（同▲0.06ポイント）だった。

6/10 スパコン「富岳」11期連続世界1位

理化学研究所はスーパーコンピューター「富岳」が、計算機能を競うランキングで、ビッグデータ解析などで重要な指標となる「グラフ500」部門において11期連続世界1位を獲得したと発表した。

6/12 景況感 6四半期連続で「下降」超

神戸財務事務所の兵庫県内法人企業景況予測調査によると、4～6月期の全産業の景況判断指数（BSI）は前期比1.5ポイント改善したものの、▲9.6と6四半期連続で「下降」超となった。

6/12 神戸空港に次世代太陽電池 国内初取組

神戸市は民間企業と連携し、神戸空港において次世代太陽電池「ペロブスカイト太陽電池」の制限区域内では国内初となる実証実験を始めたと発表した。実証期間は25年6月から27年3月を予定している。この電池は日本発の技術が生んだ「軽量・薄い・柔軟」など従来の太陽電池にない特性を持つ製品で、25年度から事業化される予定。